

数字で見る 姫路経済 2017



姫路商工会議所
姫路経済研究所



目 次

1. 姫路市の歴史	1
2. 姫路市の概要	2
3. 人 口	
(1) 世帯数、総人口等の推移及び編入・合併等の変遷	3
(2) 年齢階層別人口推移	4
(3) 将来推計人口	5
4. 産 業	
(1) 産業構造	6
(2) 製 造 業	7
(3) 卸 売 業	8
(4) 小 売 業	9
(5) その他関連指標	10
5. 観 光	11
6. 姫路市内景気動向	12
7. 姫路市の統計データランキング	13

1 姫路市の歴史

姫路市は、兵庫県の南西部に広がる播磨平野の中央部にあり、神戸市まで約50km、岡山市まで約70kmの距離にあり、京阪神、中国、山陰を結ぶ交通の要衝となっている。

明治22年（1889年）4月に江戸時代の城下町とその外縁部（面積約3km²）を市域とする人口約25,000人の都市として、全国30市とともに我が国初の市制を施行したところから始まる。

大正時代には、姫路駅周辺は一大ターミナルとして商業施設が集積するとともに、旧制高校のうちの1校である旧制姫路高等学校が大正13年（1924年）に開校し、文教府としての側面を持つようになった。

工業化の面では、明治後期から昭和にかけて紡績業等の軽工業が発展するとともに、大正から昭和にかけて臨海部に製鉄業等の重工業が進出し、人口の集積に伴い市街地が拡大した。

太平洋戦争では2回の空襲により市街地は壊滅的な打撃を受けたが、戦後復興を早期に果たすべく市のシンボルロードである大手前通りの整備や市街地の改造に取り組み、姫路駅周辺の復興が図られた。

高度経済成長期には、播磨臨海工業地帯の中心としての役割を担い、商工業都市として今日の姿へと発展を遂げてきた。

平成5年に姫路城が法隆寺とともに日本で初めて世界文化遺産に登録された。

本市は、明治から昭和40年代にかけて計11回に及ぶ市町村合併により市域を拡大してきた。平成18年（2006年）には近隣4町（家島町、夢前町、香寺町、安富町）と合併し人口53万人の新生「姫路市」が誕生した。

現在、産業面では、「ものづくり産業」の厚い集積がある特性を備え、臨海部には鉄鋼、化学などの大企業やそれらを支える技術力のある中小企業が集積し、全国有数の工業地帯を形成している。また、市内に姫路工業大学を前身とする兵庫県立大学工学部や全国初の「公私協力方式」で設立された姫路獨協大学などがあり、産官学が連携して、研究協力や学術交流を行っている。

平成27年（2015年）3月には、平成の大修理を終えた姫路城がグランドオープンし、初年度は286万人の登閣者数を記録した。

平成27年度より、本市は「播磨圏域連携中枢都市圏（8市8町）」における中枢市となり、地方が踏みとどまるための拠点として、人口減少の防波堤となることを期待されている。圏域の人口は約130万人で、兵庫県内の約23%に達しており、「圏域全体の経済成長のけん引」「高次都市機能の集積・強化」「圏域全体の生活関連機能サービスの向上」の3つの役割を果たすための取組みを推進している。



●市鳥 シラサギ



●市花 サギ草



●市蝶 ジャコウアゲハ



●市木 カシ

●市名のいわれ

播磨国風土記「日女道丘」(ひめじおか) に由来します。

(資料：姫路市「ひめじ創生戦略」、「姫路フォトバンク」)

2 姫路市の概要

人	口	534,452人	(平成28年10月1日現在)
面	積	534.47km ²	(平成28年10月1日現在)
世	帯	数	214,838世帯
人	口	増	減
		【自然増減数】 ▲808人 (出生) 4,477人 (死亡) 5,285人	(平成28年)
		【社会増減数】 ▲689人 (転入) 13,774人 (転出) 14,463人	(平成28年)
産	業	【事業所数】 25,456事業所 (総務省「平成26年経済センサス」) (製造業) 1,055事業所 (従業員4名以上) (経済産業省「平成26年工業統計調査」) 【製造品出荷額等】 2兆4,087億円 (卸売業) 1,320事業所 (経済産業省「平成26年商業統計調査」) 【年間商品販売額】 1兆342億円 (小売業) 3,622事業所 (経済産業省「平成26年商業統計調査」) 【年間商品販売額】 5,118億円	
経	済	平成26年度市民経済計算 (経済活動市内総生産) 【市内総生産 (GDP)】 2兆1,618億円 (構成比) (第1次産業) 88億円 0.4% (第2次産業) 6,624億円 30.6% (第3次産業) 1兆4,704億円 68.0% (輸入品税等) 202億円 0.9% 【就業者1人あたり】 839万円 (兵庫県「市町民経済計算」)	
観	光	入	込
		客	数
		【平成26年度】 915万人 (姫路城入城者数: 92万人) 【平成27年度】 1,190万人 (姫路城入城者数: 287万人) 【平成28年度】 1,026万人 (姫路城入城者数: 211万人) (姫路市「平成28年度姫路市入込客数・観光動向調査報告書」)	
姉	妹	都	市
		【海外】 シャルルロア市 (ベルギー) フェニックス市 (アメリカ) アデレード市 (オーストラリア) クリチーバ市 (ブラジル) 太原市 (中国) 昌原市 (韓国) 【国内】 鳥取市 (鳥取県) 松本市 (長野県)	 シャンティイ城
姉	妹	城	
		シャンティイ城 (フランス・ロワーズ県)	
観	光	交	流
		協	定
		締	結
		城	
		ノイシュバンシュタイン城 (ドイツ・バイエルン州)	 ノイシュバンシュタイン城
位	置	及	び
		地	勢
		【位置】 東経 134度41分 北緯 34度49分 【距離】 東西 約35.7km 南北 約55.5km 【海拔】 最高海拔 (夢前町山之内) 海拔 977m 【河川】 最長河川 (市川) 流路延長 77.554km	
気	候	平均気温 最高気温 最低気温 降水量 最大降水量 【平成26年】 15.3℃ 36.0℃ ▲2.9℃ 1,156mm 79mm 【平成27年】 15.8℃ 36.3℃ ▲3.6℃ 1,641mm 193mm 【平成28年】 16.3℃ 37.1℃ ▲5.6℃ 1,552mm 114mm (年あたり) (日あたり)	

※1 1年間の製造品の出荷額や売買された物品等の販売額

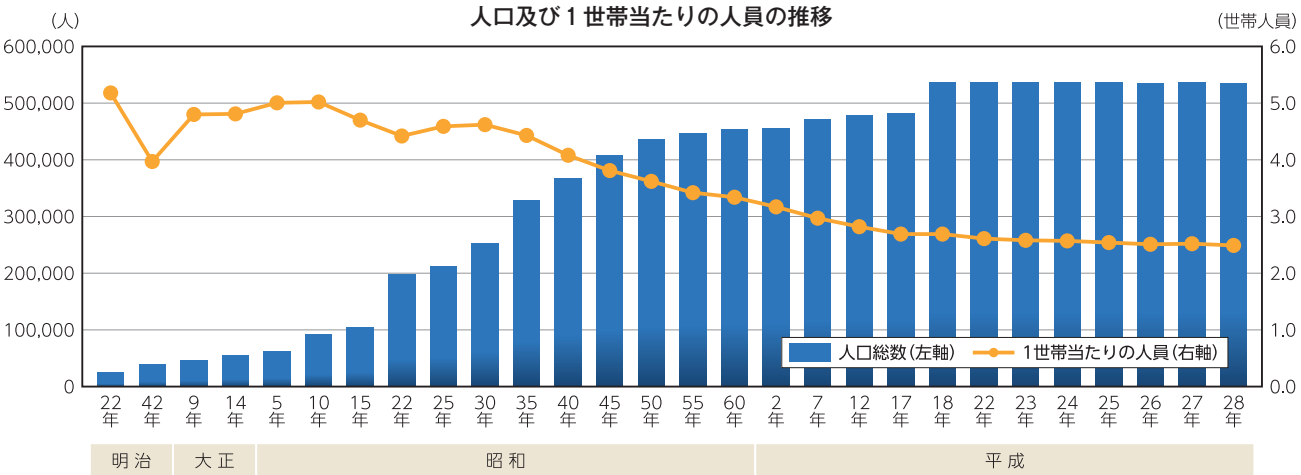
※2 1年間で行われた生産活動によって生み出された付加価値の貨幣評価額

3 人 口 (1) 世帯数、総人口等の推移及び編入・合併等の変遷

■世帯数、総人口等の推移及び編入・合併等の変遷

区 分			世帯数	人 口			人口性比 (男／女)	1世帯当 たりの人員	編入又は合併地域
				総 数	男	女			
	明治	22年	4,815	24,958	—	—	—	5.18	明治22年4月1日 姫路市制施行
		42年	9,629	38,247	19,497	18,750	104.0	3.97	明治45年 飾磨郡国衙村及び市殿村の一部
①	大正	9年	9,535	45,750	23,306	22,444	103.8	4.80	
②		14年	11,582	55,713	27,415	28,298	96.9	4.81	大正14年 城北村
③	昭和	5年	12,552	62,171	31,172	30,999	100.6	4.95	昭和8年 水上村、神崎郡砥堀村
④		10年	18,210	91,375	44,125	47,250	93.4	5.02	昭和10年 城南・高岡村 昭和11年 安室・荒川・手柄村
⑤		15年	22,188	104,259	49,548	54,711	90.6	4.70	昭和21年 飾磨市、白浜・広畑・網干町、大津・勝原・余部村
⑥		22年	44,687	197,299	96,402	100,897	95.5	4.42	
⑦		25年	46,255	212,100	102,385	109,715	93.3	4.59	昭和29年 曾左・余部・糸引・八木、揖保郡太市村
⑧		30年	54,586	252,315	124,092	128,223	96.8	4.62	昭和32年 四郷・花田・御国野・別所村 昭和33年 飾東・的形村、神南町 昭和34年 大塩町
⑨		35年	74,188	328,689	162,152	166,537	97.4	4.43	
⑩		40年	90,098	367,807	180,343	187,464	96.2	4.08	昭和42年 林田町
⑪		45年	107,302	408,353	200,072	208,281	96.1	3.81	
⑫		50年	120,619	436,086	213,641	222,445	96.0	3.62	
⑬		55年	130,445	446,256	217,174	229,082	94.8	3.42	
⑭		60年	135,618	452,917	219,540	233,377	94.1	3.34	
⑮	平成	2年	143,522	454,360	219,270	235,090	93.3	3.17	
⑯		7年	158,818	470,986	227,240	243,746	93.2	2.97	
⑰		12年	169,765	478,309	230,649	247,660	93.1	2.82	
⑱		17年	178,987	482,304	232,553	249,751	93.1	2.69	
		18年	199,091	536,067	258,783	277,284	93.3	2.69	平成18年3月27日 家島町、夢前町、香寺町、安富町
⑲		22年	205,587	536,270	259,320	276,950	93.6	2.61	
		23年	207,875	536,370	259,262	277,108	93.6	2.58	
		24年	208,473	536,300	259,396	276,904	93.7	2.57	
		25年	211,235	535,783	259,362	276,421	93.8	2.54	
		26年	213,158	534,794	258,805	275,989	93.8	2.51	
⑳		27年	212,801	535,664	258,724	276,940	93.4	2.52	
		28年	214,838	534,452	258,152	276,300	93.4	2.49	

注) ○印は国勢調査結果(各年10月1日現在) (資料:総務省「国勢調査」、姫路市「姫路市の推計人口」)
平成18、23～26、28年は姫路市推計(各年10月1日現在)

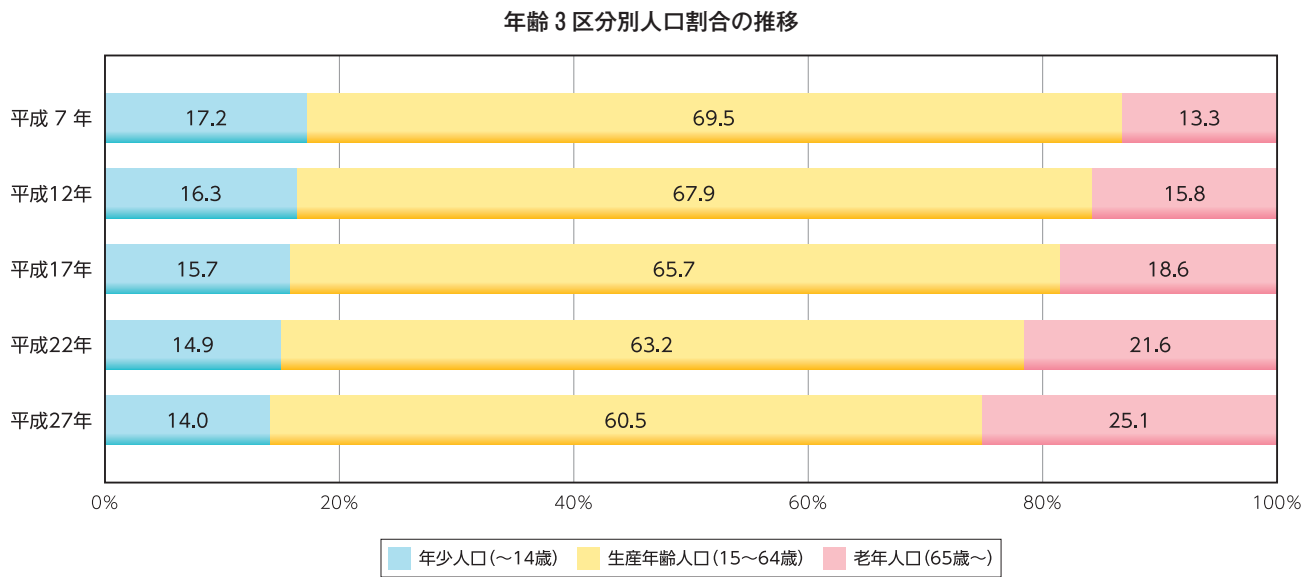


3 人 口 (2) 年齢階層別人口推移

■年齢階層別推移

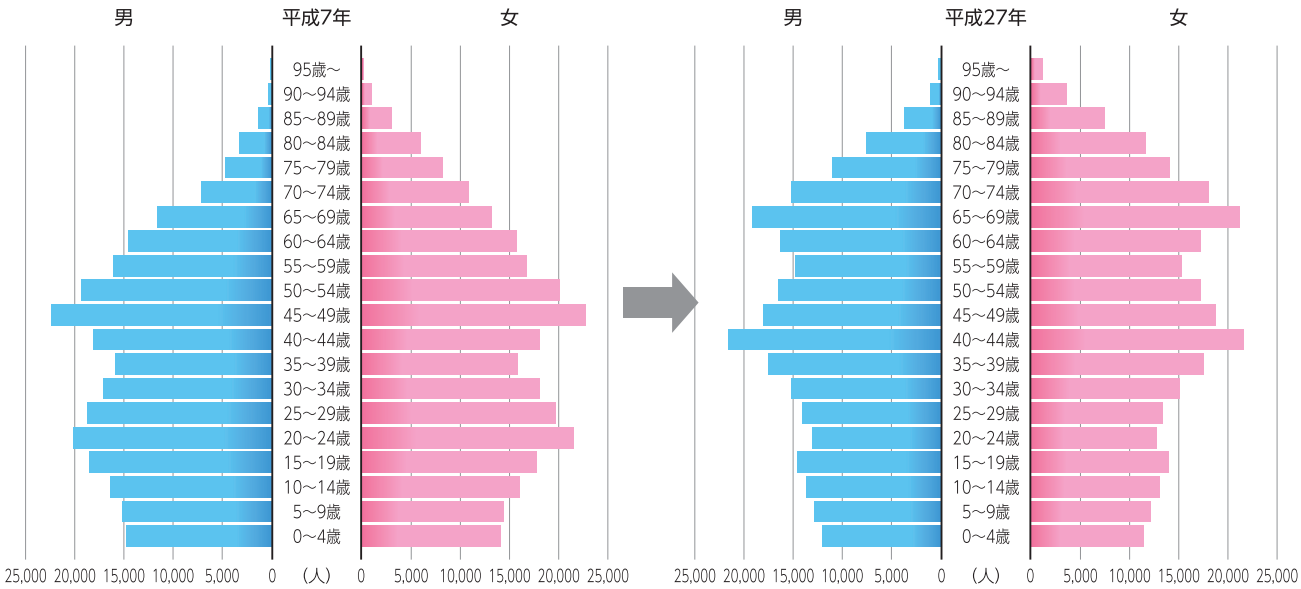
年 次	人 口 (人)				割 合 (%)		
	総 数	年少人口 (～14歳)	生産年齢人口 (15～64歳)	老年人口 (65歳～)	年少人口 (～14歳)	生産年齢人口 (15～64歳)	老年人口 (65歳～)
平成 7 年	527,854	90,720	366,709	70,384	17.2	69.5	13.3
平成12年	534,969	87,325	363,235	84,387	16.3	67.9	15.8
平成17年	536,232	84,007	352,455	99,606	15.7	65.7	18.6
平成22年	536,270	80,093	338,884	115,703	14.9	63.2	21.6
平成27年	535,664	75,155	324,094	134,671	14.0	60.5	25.1
兵庫県(平成27年)	5,534,800	706,871	3,280,212	1,481,646	12.8	59.3	26.8
全 国(平成27年)	127,094,745	15,886,810	76,288,736	33,465,441	12.5	60.0	26.3

※ 1 平成18年以前は旧 4 町（家島町、夢前町、香寺町、安富町）を合算
 ※ 2 総数は「年齢不詳」を含む (資料：総務省「国勢調査」)



■人口ピラミッド (平成 7 年ー27年比較)

(資料：総務省「国勢調査」)



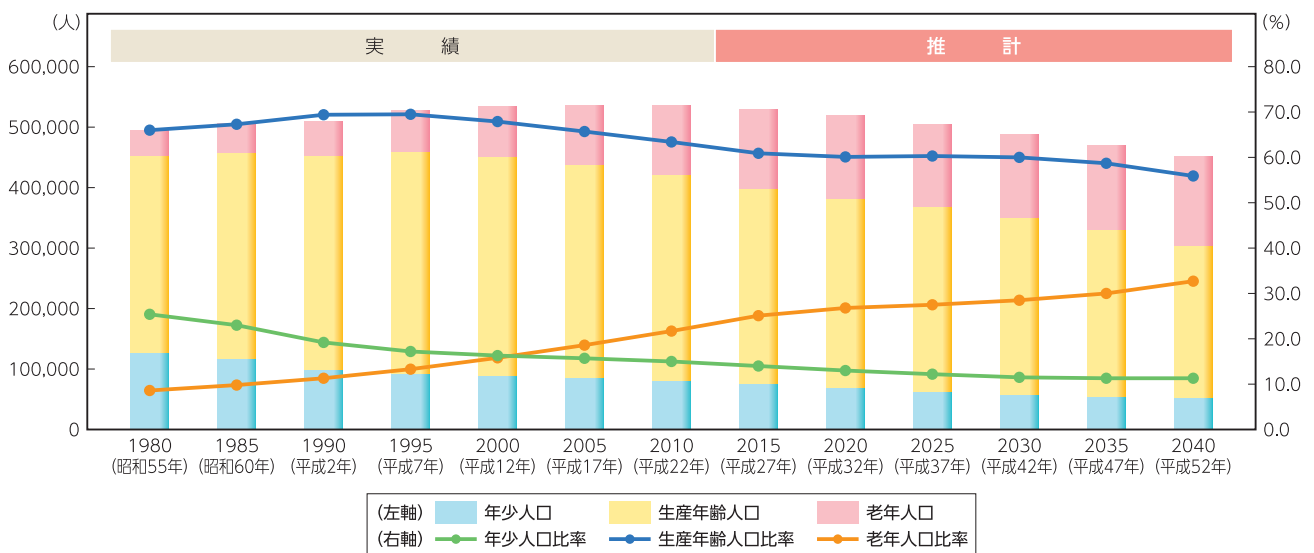
3 人 口 (3) 将来推計人口

■人口推移と将来推計人口

年 次		総 人 口	年少人口(～14歳)		生産年齢人口(15～64歳)		老年人口(65歳～)	
実 績 値	1980年 昭和55年	494,825	125,616	25.4%	326,354	66.0%	42,766	8.6%
	1985年 昭和60年	506,101	116,164	23.0%	340,387	67.3%	49,534	9.8%
	1990年 平成2年	509,129	97,643	19.2%	353,420	69.4%	57,460	11.3%
	1995年 平成7年	527,854	90,720	17.2%	366,709	69.5%	70,384	13.3%
	2000年 平成12年	534,969	87,325	16.3%	363,235	67.9%	84,387	15.8%
	2005年 平成17年	536,232	84,007	15.7%	352,455	65.7%	99,606	18.6%
	2010年 平成22年	536,270	80,194	15.0%	339,964	63.4%	116,112	21.7%
推 計 値	2015年 平成27年	529,510	74,087	14.0%	322,322	60.9%	133,101	25.1%
	2020年 平成32年	519,317	67,767	13.0%	312,241	60.1%	139,309	26.8%
	2025年 平成37年	505,196	61,717	12.2%	304,600	60.3%	138,879	27.5%
	2030年 平成42年	488,643	56,332	11.5%	292,958	60.0%	139,353	28.5%
	2035年 平成47年	470,349	53,143	11.3%	276,110	58.7%	141,096	30.0%
	2040年 平成52年	451,169	51,033	11.3%	252,409	55.9%	147,727	32.7%

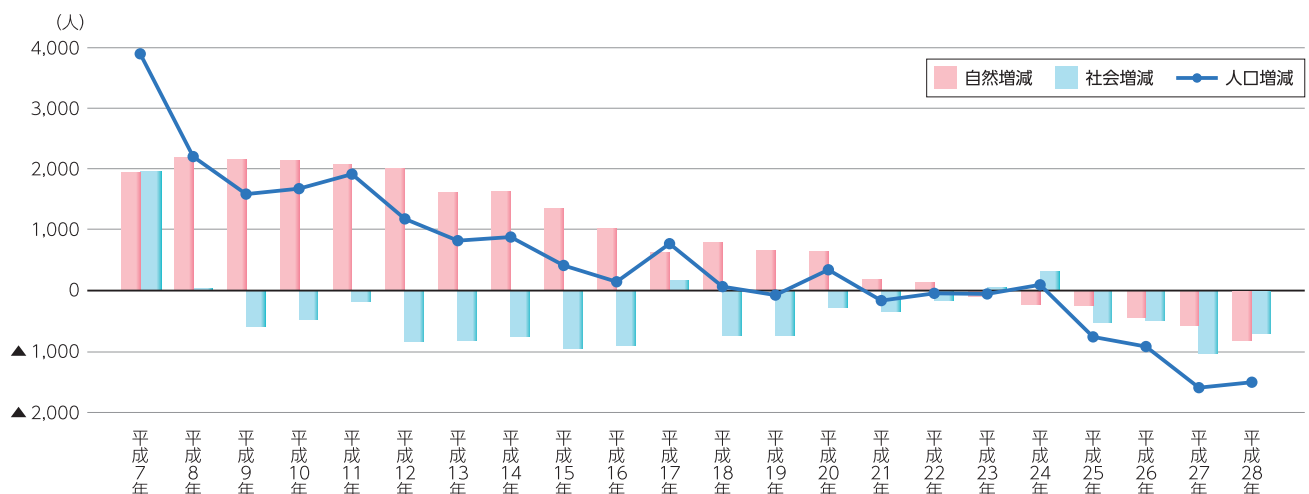
※総人口実績値は「年齢不詳」を含む

(資料：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」)



■自然増減及び社会増減の推移

(資料：姫路市「人口動態の推移」)



4 産 業 (1) 産業構造

■産業構造

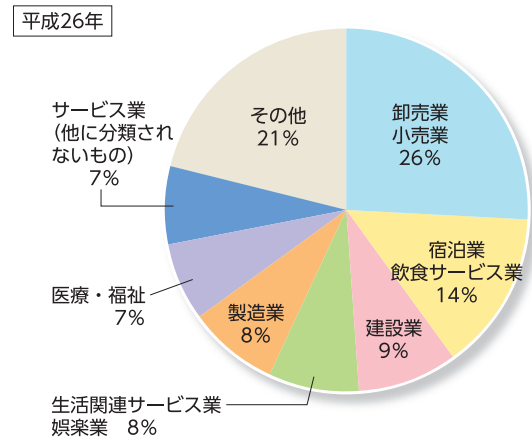
播磨地域の中核都市としての姫路の産業は、臨海部に立地する鉄鋼、化学、電気機械などの重工業と活発な商業活動により発展してきた。こうした経済基盤のもと、産業構造も変化しつつある。

(1) 事業所数

(単位：事業所)

分 類	平成26年	平成21年
卸売業・小売業	6,614	7,344
宿泊業・飲食サービス業	3,555	4,025
建設業	2,266	2,587
生活関連サービス業・娯楽業	2,126	2,258
製造業	2,118	2,248
医療・福祉	1,715	1,492
サービス業(他に分類されないもの)	1,704	1,829
その他	5,358	5,791
合 計	25,456	27,574

(資料：総務省「経済センサス」)

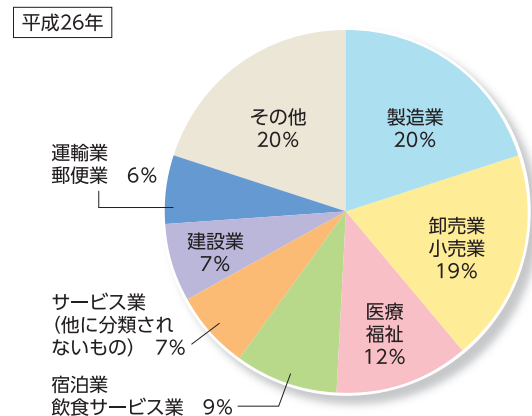


(2) 従業員数

(単位：人)

分 類	平成26年	平成21年
製造業	51,382	50,235
卸売業・小売業	50,986	56,658
医療・福祉	32,348	25,992
宿泊業・飲食サービス業	23,572	25,907
サービス業(他に分類されないもの)	18,809	21,582
建設業	18,635	21,698
運輸業・郵便業	15,578	15,779
その他	53,261	54,343
合 計	264,571	272,194

(資料：総務省「経済センサス」)

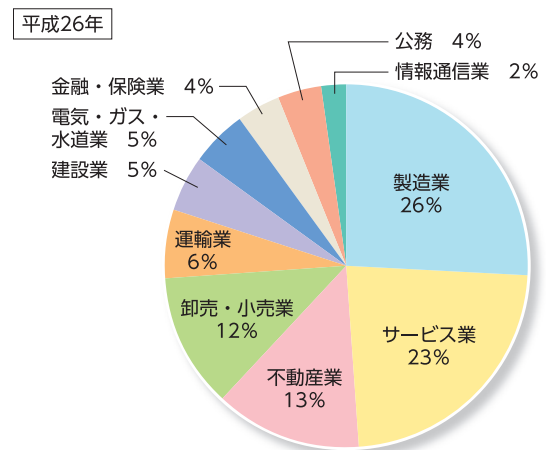


(3) 総生産

(単位：百万円)

分 類	平成26年	平成21年
製造業	554,234	367,037
サービス業	495,352	503,002
不動産業	275,636	291,308
卸売・小売業	251,009	242,972
運輸業	126,137	114,402
建設業	106,812	140,005
電気・ガス・水道業	98,899	121,053
金融・保険業	92,857	108,295
公 務	82,425	77,280
情報通信業	48,113	60,827
水産業	4,918	3,716
農 業	3,699	3,826
鉱 業	1,367	1,956
林 業	206	221
合 計	2,141,664	2,035,900

(資料：兵庫県「市町民経済計算」)

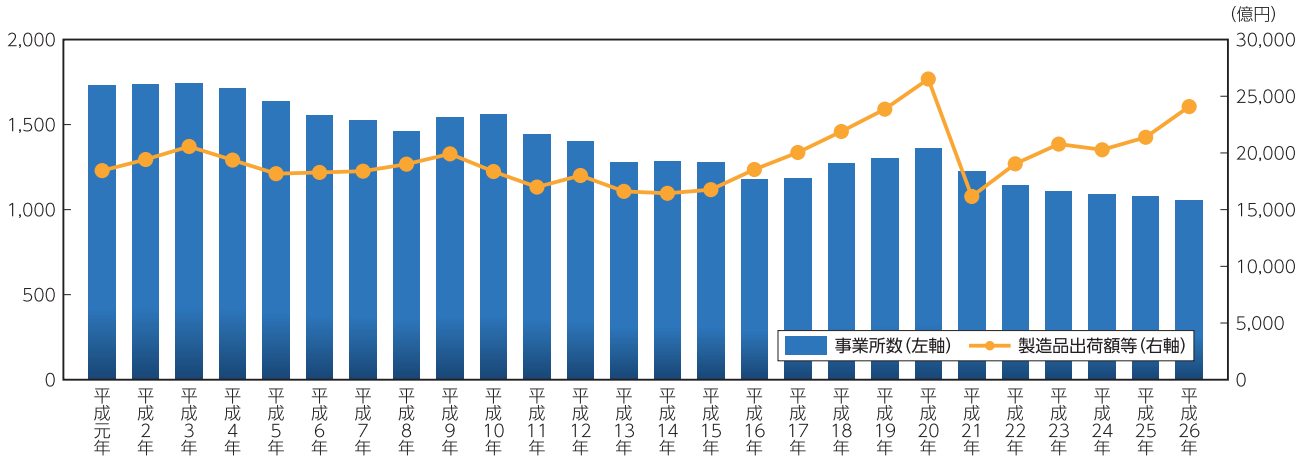


4 産 業 (2) 製造業

■製造業（従業者数4人以上の事業所）

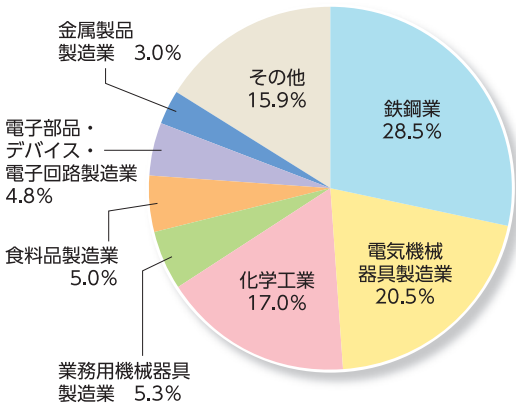
平成26年工業統計調査によると、従業者数4人以上の事業所数は、1,055事業所で、従業者数46,540人となっている。また、製造品出荷額等は2兆4,087億円で、これを産業別にみると鉄鋼業6,870億円と最も多く、ついで電気機械器具製造業の4,942億円となっている。

(1) 事業所数・製造品出荷額等の推移



(2) 産業中分類別製造品出荷額等構成比（平成26年）

分 類	出荷額等 (億円)	構 成 比 (%)
鉄鋼業	6,870	28.5
電気機械器具製造業	4,942	20.5
化学工業	4,089	17.0
業務用機械器具製造業	1,266	5.3
食料品製造業	1,197	5.0
電子部品・デバイス・電子回路製造業	1,154	4.8
金属製品製造業	734	3.0
その他	3,835	15.9
合 計	24,087	100.0



(3) 兵庫県下 各市町の製造業の比較（平成26年）

(単位：人、億円)

区分・市町	事業所数	従業者数	製造品 出荷額等	市 町	事業所数	従業者数	製造品 出荷額等	市 町	事業所数	従業者数	製造品 出荷額等
兵庫県				たつの市	344	10,970	3,732	川西市	95	2,398	680
平成22年	9,555	359,236	141,838	西宮市	192	9,810	3,104	洲本市	69	2,639	651
平成23年	9,658	350,732	143,574	赤穂市	99	4,526	2,659	宍粟市	348	4,358	637
平成24年	9,294	349,687	143,470	篠山市	89	3,592	2,521	養父市	66	1,693	592
平成25年	9,017	352,318	140,269	加西市	263	8,605	2,514	南あわじ市	151	2,783	549
平成26年	8,710	350,429	148,884	小野市	199	8,416	2,484	宝塚市	64	3,219	486
				播磨町	74	4,619	2,227	淡路市	205	2,872	472
神戸市	1,617	63,411	28,318	丹波市	232	7,987	2,145	多可町	104	2,425	437
姫路市	1,055	46,540	24,087	福崎町	68	4,600	1,950	上郡町	21	776	321
尼崎市	783	32,645	13,144	三木市	241	6,874	1,751	市川町	54	1,394	283
明石市	312	23,209	11,234	稲美町	156	5,577	1,745	佐用町	53	1,150	269
加古川市	330	16,381	9,209	太子町	55	2,460	1,671	神河町	20	493	193
高砂市	152	14,204	9,131	豊岡市	215	6,033	1,248	香美町	83	1,457	190
伊丹市	297	15,827	6,454	相生市	61	2,560	926	新温泉町	26	591	84
三田市	100	9,558	5,341	西脇市	153	3,150	713	猪名川町	15	433	68
加東市	158	6,965	3,956	朝来市	77	3,008	680	芦屋市	14	221	25

(資料：総務省「経済センサス」、経済産業省「工業統計調査」)

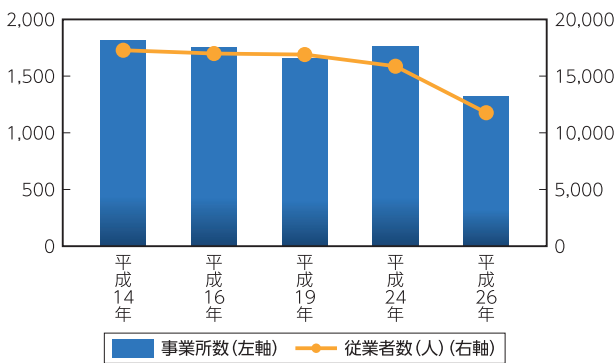
4 産 業 (3) 卸売業

■卸売業

平成26年の卸売業は、1,320事業所、従業者数11,767人となっている。また、年間商品販売額は1兆342億円で、これを業種別にみると建築材料、鉱物・金属材料等卸売業が2,857億円と最も多く、続いて機械器具卸売業が2,291億円、飲食料品卸売業が2,149億円となっている。

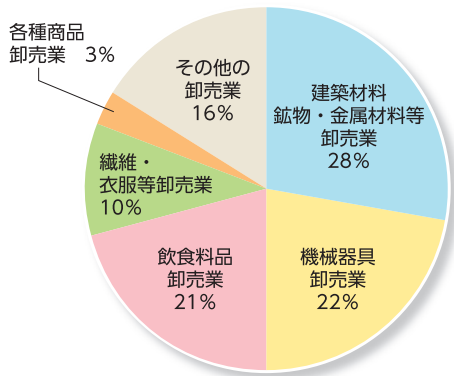
(1) 事業所数・従業者数の推移

年 次	事業所数	従業者数 (人)	年間商品販売額(億円)
平成14年	1,812	17,277	11,770
平成16年	1,755	16,993	11,236
平成19年	1,651	16,896	11,555
平成24年	1,763	15,874	10,681
平成26年	1,320	11,767	10,342



(2) 年間商品販売額（平成26年）

分 類	年間商品販売額(億円)
建築材料、鉱物・金属材料等卸売業	2,857
機械器具卸売業	2,291
飲食料品卸売業	2,149
繊維・衣服等卸売業	1,065
各種商品卸売業	286
その他の卸売業	1,696
合 計	10,342



(資料：総務省「経済センサス」、経済産業省「商業統計調査」)
※1 平成24年の数値は「平成24年経済センサス」、その他は「商業統計調査」。
※2 「商業統計調査」と「平成24年経済センサス」では、集計対象等が異なっている。
※3 「平成26年商業統計調査」は、日本標準産業分類の第12回改定及び調査設計の大幅変更を行ったことに伴い、前回実施の平成19年調査の数値とは接続しない。

(3) 兵庫県下 各市町の卸売業の比較（平成26年）

市 町	事業所数		従業者数		年間商品販売額	
	事業所	構成(%)	人	構成(%)	億 円	構成(%)
兵庫県	9,329	100.0	78,838	100.0	71,507	100.0
神戸市	3,376	36.2	32,344	41.0	31,931	44.7
姫路市	1,320	14.1	11,767	14.9	10,342	14.5
尼崎市	679	7.3	5,782	7.3	5,684	7.9
西宮市	438	4.7	4,380	5.6	6,230	8.7
加古川市	340	3.6	2,948	3.7	2,047	2.9
明石市	323	3.5	2,631	3.3	3,779	5.3
豊岡市	246	2.6	1,702	2.2	778	1.1
三木市	230	2.5	2,050	2.6	1,013	1.4
伊丹市	204	2.2	1,857	2.4	2,694	3.8
南あわじ市	178	1.9	1,072	1.4	379	0.5
たつの市	134	1.4	1,253	1.6	929	1.3
宝塚市	130	1.4	627	0.8	218	0.3
西脇市	128	1.4	743	0.9	359	0.5
洲本市	113	1.2	663	0.8	379	0.5
小野市	113	1.2	706	0.9	340	0.5
川西市	113	1.2	518	0.7	164	0.2
丹波市	106	1.1	526	0.7	370	0.5
淡路市	105	1.1	494	0.6	146	0.2
三田市	101	1.1	662	0.8	522	0.7
高砂市	90	1.0	799	1.0	316	0.4
その他(21市町)	862	9.2	5,314	6.7	2,888	4.0

(資料：兵庫県「商業統計調査」)

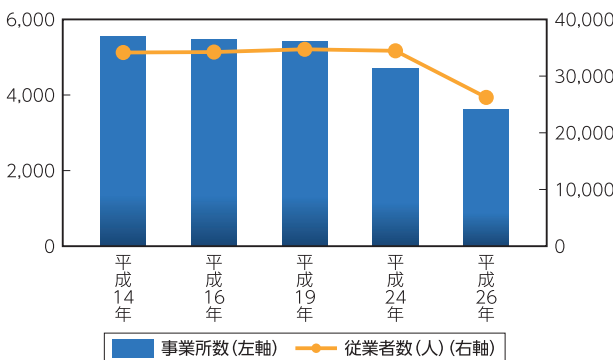
4 産 業 (4) 小売業

■小売業

平成26年の小売業は、3,622事業所、従業者数26,242人となっている。また、年間商品販売額は5,118億円で、これを業種別にみると飲食料品小売業が1,232億円と最も多く、続いて機械器具小売業が1,078億円、各種商品小売業が583億円となっている。

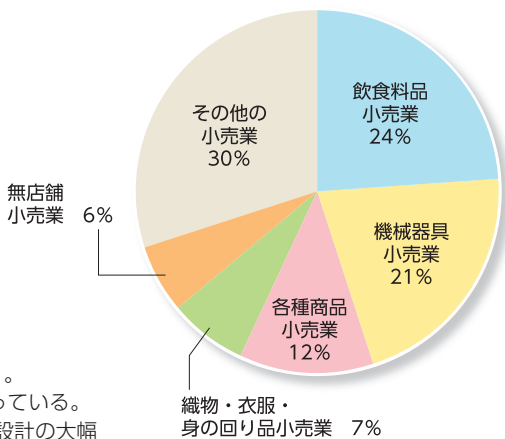
(1) 事業所数・従業者数の推移

年 次	事業所数	従業者数 (人)	年間商品販 売額(億円)
平成14年	5,558	34,163	5,807
平成16年	5,464	34,243	5,617
平成19年	5,410	34,731	5,952
平成24年	4,713	34,464	4,621
平成26年	3,622	26,242	5,118



(2) 年間商品販売額 (平成26年)

分 類	年間商品販 売額(億円)
飲食料品小売業	1,232
機械器具小売業	1,078
各種商品小売業	583
織物・衣服・身の回り品小売業	361
無店舗小売業	319
その他の小売業	1,544
合 計	5,118



(資料：総務省「経済センサス」、経済産業省「商業統計調査」)

※1 平成24年の数値は「平成24年経済センサス」、その他は「商業統計調査」。

※2 「商業統計調査」と「平成24年経済センサス」では、集計対象等が異なっている。

※3 「平成26年商業統計調査」は、日本標準産業分類の第12回改定及び調査設計の大幅変更を行ったことに伴い、前回実施の平成19年調査の数値とは接続しない。

(3) 兵庫県下 各市町の小売業の比較 (平成26年)

市 町	事業所数		従業者数		年間商品販売額		売場面積 (㎡)	1㎡当たりの 販売額(万円)
	事業所	構成(%)	人	構成(%)	億 円	構成(%)		
兵庫県	32,220	100.0	247,285	100.0	49,573	100.0	5,596,610	88.6
神戸市	9,181	28.5	75,272	30.4	16,572	33.4	1,557,904	106.4
姫路市	3,622	11.2	26,242	10.6	5,118	10.3	656,204	78.0
尼崎市	2,335	7.2	18,190	7.4	3,461	7.0	367,155	94.3
西宮市	2,019	6.3	19,699	8.0	4,038	8.1	393,547	102.6
明石市	1,365	4.2	10,925	4.4	1,728	3.5	227,147	76.1
加古川市	1,217	3.8	10,758	4.4	2,209	4.5	301,313	73.3
豊岡市	931	2.9	4,798	1.9	935	1.9	133,613	70.0
伊丹市	860	2.7	8,592	3.5	1,870	3.8	196,941	95.0
宝塚市	848	2.6	7,707	3.1	1,310	2.6	141,116	92.8
川西市	646	2.0	5,922	2.4	1,248	2.5	115,367	108.2
たつの市	560	1.7	3,595	1.5	624	1.3	87,451	71.3
丹波市	551	1.7	3,102	1.3	606	1.2	88,669	68.3
南あわじ市	525	1.6	2,567	1.0	486	1.0	67,239	72.3
高砂市	503	1.6	3,761	1.5	625	1.3	88,376	70.7
淡路市	486	1.5	2,354	1.0	433	0.9	63,880	67.8
三木市	480	1.5	3,786	1.5	798	1.6	112,596	70.9
洲本市	447	1.4	2,328	0.9	400	0.8	54,639	73.3
三田市	424	1.3	4,526	1.8	802	1.6	126,274	63.5
芦屋市	419	1.3	3,195	1.3	579	1.2	50,693	114.3
宍粟市	387	1.2	2,100	0.8	365	0.7	58,841	62.0
その他(21市町)	4,414	13.7	27,866	11.3	5,366	10.8	707,645	75.8

(資料：兵庫県「商業統計調査」)

4 産 業 (5) その他関連指標

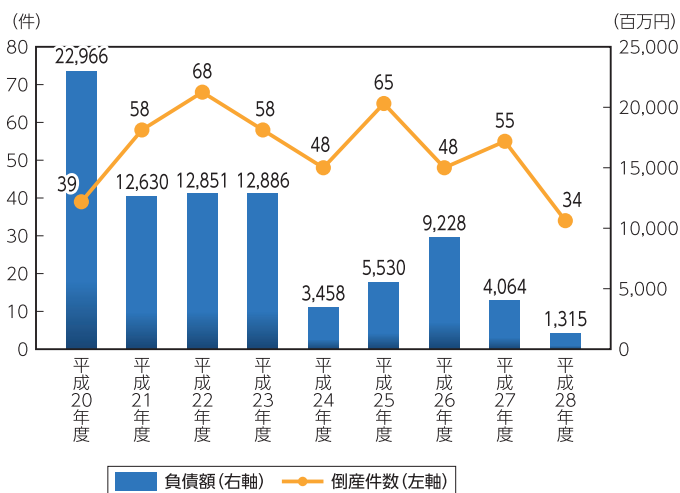
■有効求人倍率の推移



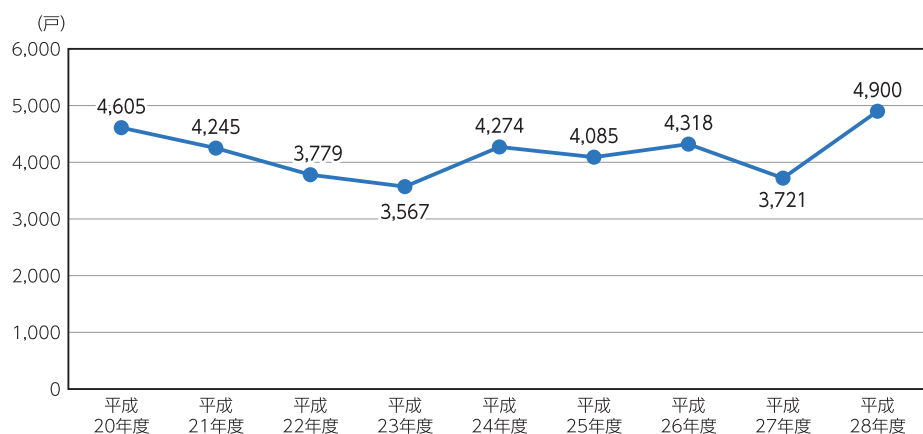
■倒産状況の推移

年 次	件 数	前年差 (件数)	負債額 (百万円)	前年比 (%)
平成20年度	39	▲ 4	22,966	62.9
平成21年度	58	19	12,630	▲45.0
平成22年度	68	10	12,851	1.7
平成23年度	58	▲ 10	12,886	0.3
平成24年度	48	▲ 10	3,458	▲73.2
平成25年度	65	17	5,530	59.9
平成26年度	48	▲ 17	9,228	66.9
平成27年度	55	7	4,064	▲56.0
平成28年度	34	▲ 21	1,315	▲67.6

(資料：株式会社東京商工リサーチ姫路支店)



■新設住宅着工件数の推移



年 次	着工件数 (戸)
平成20年	4,605
平成21年	4,245
平成22年	3,779
平成23年	3,567
平成24年	4,274
平成25年	4,085
平成26年	4,318
平成27年	3,721
平成28年	4,900

(資料：国土交通省「建築着工統計調査」)

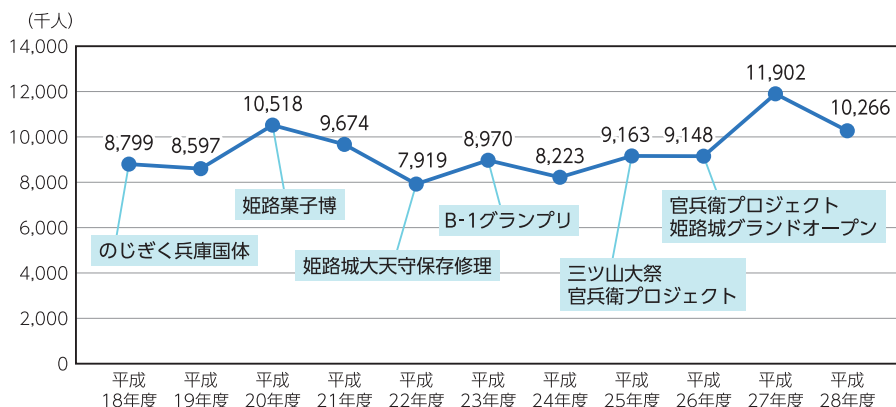
5 観光

■観光

姫路市内にある観光主要施設の平成28年度の総入込客数は1,026万人で、姫路城グランドオープンを契機に大きく増加した平成27年度に比べ約163万人減少したが、依然1,000万人の大台を維持している。姫路城の入城者数においても、平成28年度は国内城郭の年間入城者数で過去最多を記録した平成27年度の286万人から約75万人減の211万人となったが、200万人を越える高い水準で推移している。

姫路城入込客数の平成28年度の内訳は、国内観光客が174万人（82.7%）、外国人観光客が36万人（17.3%）であった。平成27年度に比べ、国内観光客は前年度の256万人（89.3%）から約81万人減少しているのに対し、外国人観光客は前年度の30万人（10.7%）から約6万人増加し、外国人観光客の占める割合が上昇している。

(1) 姫路市総入込客数の推移



※総入込客数…主要な観光施設、まつり・イベント等への入込客数の合計

(資料：姫路市「平成28年度姫路市入込客数・観光動向調査報告書」)



世界文化遺産・国宝 姫路城



書寫山圓教寺

(2) 新たな観光資源の活用による観光客増加に向けた取り組み

観光庁では、スポーツをインバウンド拡大や国内観光振興の起爆剤となる新たな観光資源として位置付けている。当地には、スポーツ文化ツーリズムアワード2016でスポーツ庁長官賞を受賞し評価を得た「世界遺産姫路城マラソン」や、トップリーグを目指す女子サッカーチームやバレーボールチームの拠点があり、地域に活力を与えている。大型スポーツイベントの開催やチームの活躍を通じた地域ブランドの向上や交流人口の増加に期待が寄せられている。



世界遺産姫路城マラソン



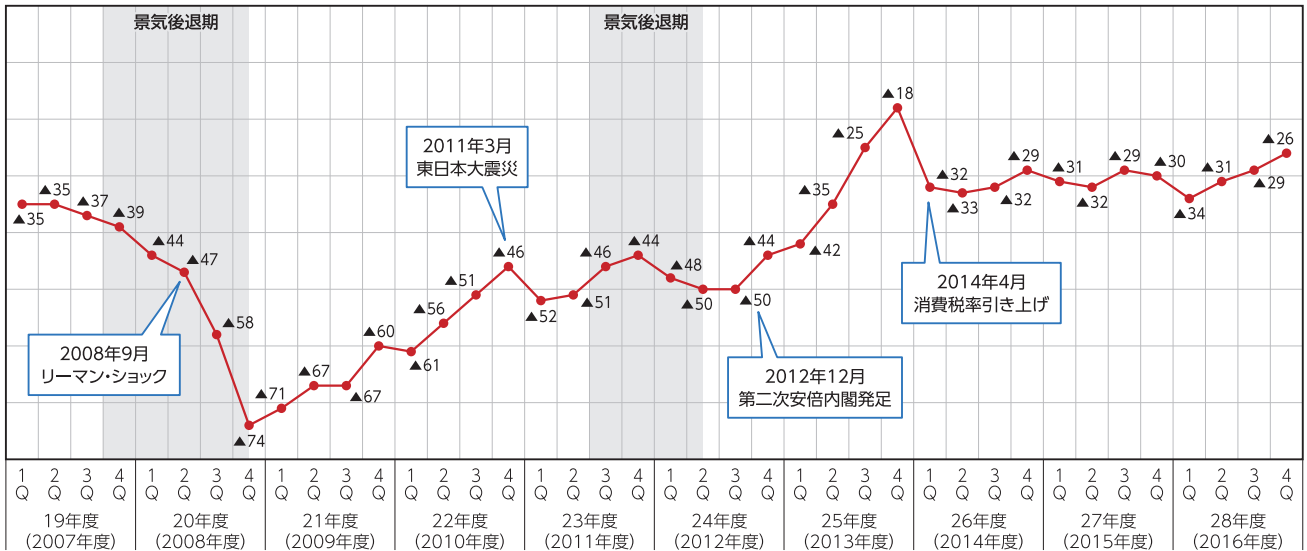
ASハリマアルビオン
(女子サッカー・なでしこリーグ2部所属)



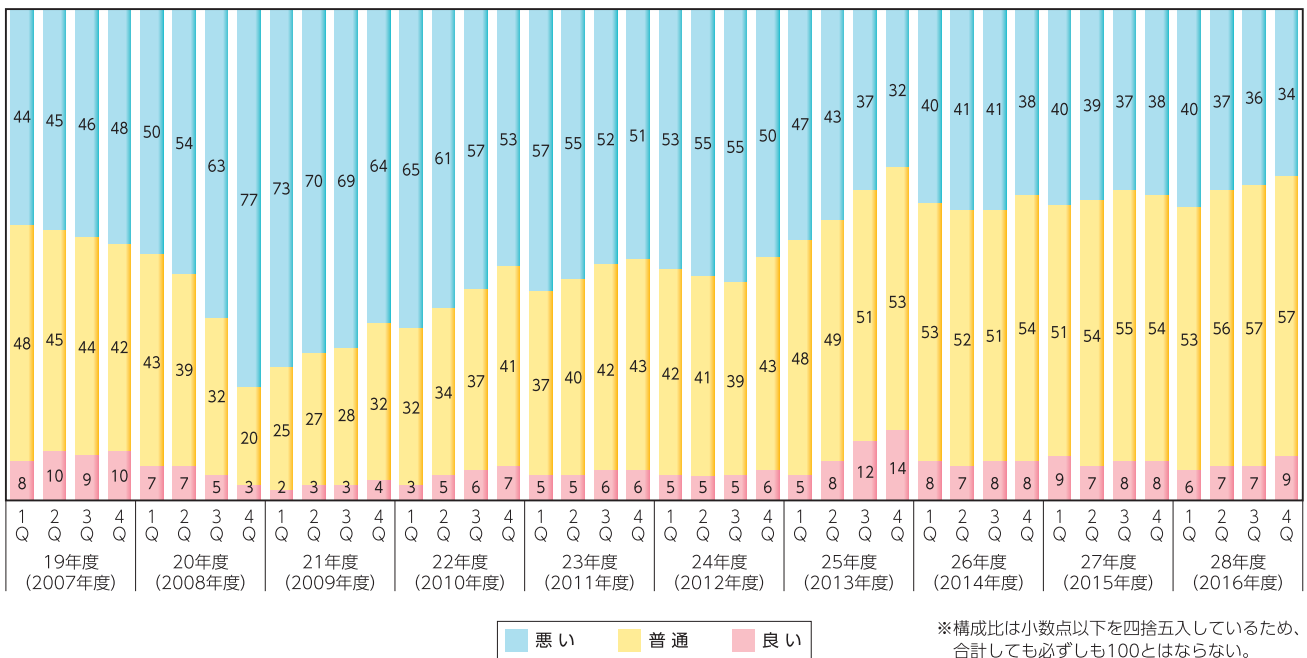
ヴィクトリーナ姫路
(女子バレー・日本初のプロバレーボールチーム)

6 姫路市内景気動向

■景気動向調査「姫路の業況判断DI」の長期推移



■「姫路の業況判断DI」構成比の推移



(資料：姫路商工会議所「景気動向調査」)

■項目別DI値の推移

	27/1Q	27/2Q	27/3Q	27/4Q	28/1Q	28/2Q	28/3Q	28/4Q
業況判断DI	▲ 31	▲ 30	▲ 29	▲ 30	▲ 34	▲ 31	▲ 29	▲ 26
従業員過不足DI	▲ 15	▲ 20	▲ 23	▲ 20	▲ 19	▲ 22	▲ 23	▲ 27
設備過不足DI	▲ 4	▲ 3	▲ 6	▲ 4	▲ 5	▲ 6	▲ 7	▲ 6
在庫過不足DI	9	9	7	8	7	6	5	4
資金繰りDI	▲ 19	▲ 20	▲ 20	▲ 18	▲ 16	▲ 17	▲ 18	▲ 18

※DI値：diffusion index（ディフュージョンインデックス）の略称。

景況についての項目を「良い」割合から「悪い」割合を引いた値をもとに作成。

詳しい調査結果は姫路商工会議所ホームページ (<http://www.himeji-cci.or.jp>) をご覧ください。

7 姫路市の統計データランキング

ランキングの対象は814市区

面積・人口・世帯		
面積	130位	534.47km ²
人口（国勢調査）	32位	535,664人
自然増加率	202位	▲0.10%
社会増加率	394位	▲0.25%
年少人口比率（～14歳）	116位	14.03%
生産年齢人口比率（15～64歳）	218位	60.50%
老年人口比率（65歳～）	610位	25.14%
平均年齢	649位	45.0歳
合計特殊出生率	239位	1.55
世帯数（住民基本台帳）	34位	226,948世帯
1世帯あたり人員	443位	2.34人

財政力（2015年度）		
地方税収額	23位	959.87億円
歳出決算総額	28位	2,090.65億円
経常収支比率※ ¹	90位	83.4%
公債費負担比率※ ²	506位	15.5%
実質公債費比率※ ³	235位	5.5%
将来負担比率※ ⁴	252位	9.6%
財政力指数※ ⁵	149位	0.86
自主財源比率※ ⁶	141位	56.94%
交付税依存度※ ⁷	143位	7.00%
人口1人当たり地方債残高	315位	37.32万円

経済力		
事業所数	31位	25,055事業所
従業者数	33位	255,212人
上場企業本社数	29位	16社
製造品出荷額等	14位	2兆4,087億円
卸売業年間販売額	43位	1兆342億円
小売業年間販売額	34位	5,117億円
大型店店舗数	25位	99店

雇用・マンパワー		
労働力人口	31位	257,133人
労働力率・30～40代女性	612位	68.92%
労働力率・高齢者	694位	19.99%
就業人口構成（第1次産業）	677位	1.00%
就業人口構成（第2次産業）	202位	31.08%
就業人口構成（第3次産業）	407位	64.01%

生活基盤・環境		
昼夜間人口比率	213位	101.14%
納税者1人当たり所得	174位	324.37万円
持家世帯比率	554位	66.10%
住宅地地価	225位	6.3万円
人口1万人当たり病院・一般診療所数	397位	8.04所
人口1万人当たり医師数	271位	21.02人

（資料：東洋経済新報社「都市データパック2017年版」）

- ※¹ 歳出のうち、人件費などの経常的に支出される経費の、市税などの経常的に収入される一般財源に占める割合で、県政の硬直度を表す。この指数が低いほど財政運営の弾力性が高い。
- ※² 公債費充当一般財源を一般財源総額で除したもので、用途に制限のない地方税、地方交付金など一般財源が公債費に充当されている度合いを示す。財政構造の弾力性をみる指標のひとつ。
- ※³ 自治体の一般事業会計などが負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率（3カ年平均）。公債費による財政負担の度合いを判断する指標で、この比率が18%以上となる自治体は、起債に当たり総務大臣等の許可が必要になる。

- ※⁴ 自治体の一般事業会計などが将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率。中長期的な視点から公営企業や第三セクターなどの出資法人まで含めた、将来の実質的な負債の大きさを判断するための指標。
- ※⁵ 基準財政収入額を基準財政需要額で除したものの（3カ年度の平均値）。一般的には、収入に対して需要が小さい自治体（財政力指数が大きい自治体）が、財政的には余裕がある。地方交付税は、財政力指数が1を超える団体には交付されず、1を下回る団体に基準にしたがって交付される。
- ※⁶ 歳入に占める自主財源の割合であり、自治体の財政基盤の安定性や自立性を判断する指標。一般に、この比率が高いほど望ましいと考えられる。
- ※⁷ 歳入に対する地方交付税の割合。

姫路商工会議所

姫路経済研究所

〒670-8505 姫路市下寺町43番地

TEL 079 - 223 - 6555

FAX 079 - 288 - 0047